

バレエ一流講師、学校で指導

系列園児含め50人参加

で課外活動としてバレエに取り組む学校は全国的にも珍しいという。学校側は情操教育に役立てるほか、少子化の進む中、他の私学との差別化を図る狙いだ。

(渡辺丘)

大和市の 聖セシリア 女子中高

大和市南林間の聖セシリア女子中学・高校で今年度から毎日、放課後にバレエのレッスンが行われている。講師は日本有数のバレエ団のプリンシパルら。日本バレエ協会によると、一流の講師を呼ん



中高生を指導する井上バレエ団プリンシパルの藤井直子さん(左端) 大和市南林間の聖セシリア女子中学・高校で

少子化の中、特色をPR

「ワン、ツー。ワン、ツー」前、後ろ、そのまま伸びて！」
クッション素材を使った床に、鏡張りの壁の広々とした専用教室。21日、クラシック音楽が流れる中、レオタード姿の中高生6人が片足で体を支えて回転する練習などに励んでいた。

講師は、多くの優れた踊り手を世に送り出してきた「井上バレエ団」のプリンシパル、藤井直子さん。1時間半のレッスンの間、飛んではね、走り回った生徒たちは額に汗を浮かべ、息を切らせていた。

高校3年の殿木彩さん(17)はもとも校外のバレエ教室に通っていたが「学校でバレエが出来るのは新鮮で、上達したいという気持ちになる」。藤井さんも「コツコツと練習を続けるうちに、子どもたちの目が変わってくる。明るい子どもたちと接していると、こっちも元気になる」と言う。

レッスンはレベル別に毎日行われており、中高生に加え、系列の幼稚園児、小学生まで計約50人

が参加。月曜日以外は藤井さん以外の団員らが講師を務める。もともと、芸術分野の著名人らを招いた課外活動に力を入れてきた同校では、09年に創立80年を迎えるのを機に、「情操・芸術教育を重んじる教育方針に一致する」として昨年4月にバレエ教室を開講した。

受験生向けのオープンキャンパスで体験コーナーを設けると、予約がすぐに埋まったという。同校の担当者は「生徒に高い芸術性に触れてもらい、学校のセールスポイントにもしていきたい」と話している。